

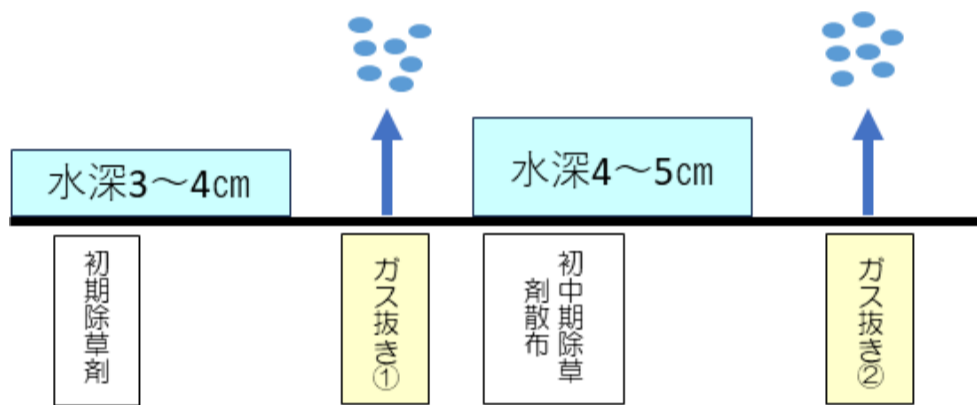
【1等米の半俵増収は7月7日までの根張り拡大を目指す！】

- ◎田植後の「収量・品質を決定づける」もっとも重要な時期です！！
- ◎水稻育苗の厚播き、大苗の弊害である過剰分ゲツ対策が重要！
- ◎適切な水管理で、早期の根張り拡大と分ゲツ促進を実行しましょう！
※徒長苗、強風により、植傷みしている圃場では、早急な実施が必要です！！

実践① = ガス抜き

◆今年、4月から寒暖の差が激しい年です。深植になってしまった場合やアオミドロやガスの発生が見られたら酸素供給のために早めの水の更新やガス抜きが必要です！

ガス抜きイメージ



- ①田植えから5月20日頃までは、アオミドロが発生し水が濁ったら水の更新をしましょう。
(初中期除草剤散布の前)
- ②5月20日～6月10日頃の好天時、ガスの発生が多く確認されたら2～3日間の完全落水によるガス抜き(2～3回)を実行しましょう。

実践② = 強風やガス障害、植傷み解消！

◆ガス抜き後に以下①～⑥、いずれかの栄養管理(10a当りの施用量)で早期復活を！

A：基肥が十分に入っている圃場は…

- ①【ハイグリーン】 20kg
- ②【ハイポン】 10kg
- ③【流し込みハイグリーンミルクキー】 15kg



B：基肥が少なく、傷みも激しい圃場

- ④【これだけでよし】 10kg **効果大！**
- ⑤【省力流し込み2号】 10kg
- ⑥【河童の置きみやげ】 1～2kg

